

# 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 長野県 】

学校名【 長野県長野養護学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ <b>V</b> （複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	高等部1学年・28名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① <b>教科名</b> ( 総合的な探究の時間 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	パラリンピック種目のボッチャを通して、スポーツ及びパラリンピックに対する興味・関心を高めスポーツを楽しむ心を育成する。
5 取組内容	①今年度の活動の流れを知る ②ボッチャというスポーツ、ルールを知る ③仲間と戦略を相談し、ゲーム展開を考えながら楽しむ ④ボッチャに慣れ親しむ ⑤パラリンピック、種目について知る  【事前学習】 ～今年度の活動の流れを知る～ 今年度はコロナウィルス感染症の影響で4月から約2ヶ月間の休校、登校再開後も少人数での活動などの制限があり、クラスを越えた生徒同士のかかわりの場面をもつことができなかった。そういった状況を踏まえ、パラリンピックへの興味関心の向上、スポーツを楽しむ心を育成することにあわせて、総合的な探究の時間の学年テーマを『「輪」クラス・学年の仲間と関わろう・つながろう』とし、生徒同士のかかわりの中核活動としてボッチャを行うことにした。

<p style="text-align: center;"><b>わ 輪</b></p> <p style="text-align: center;">がくわん なかま クラス・学年の仲間と かかわろう つながろう</p>	<p style="text-align: center;">たいせつ 大切にしたいこと</p> <p>①同じ年に入学した仲間と いっしょ かつどう 一緒に活動できる喜び</p> <p>②仲間ととにかく楽しむ</p>	<p style="text-align: center;">9月28日(月)</p>  <p style="text-align: center;">ちようせん ポッチャに挑戦!</p>
<p>パラリンピック夏冬 あわせて5回出場アスリート</p>  <p style="text-align: center;">かとう ただし 加藤 正 さん</p>	<p style="text-align: center;">10月</p> <p style="text-align: center;">ながよる 長養カップ 村松杯 だいたい 第2回 <b>大ポッチャ大会</b></p>	<p style="text-align: center;">2月</p> <p style="text-align: center;">ながよる 長養カップ 村松杯 だいたい 第2回 <b>大ポッチャ大会</b></p>
<p style="text-align: center;">11月～ パラリンピックを知ろう</p>  <p style="text-align: center;">TOKYO 2020 PARALYMPIC GAMES</p>	<p style="text-align: center;">パラリンピックって何？ どんな競技があるの？ TOKYO 2020 PARALYMPIC GAMES 出場するには？ テーマを決めて調べよう</p> 	

(学年集会パワーポイント画像一部抜粋)

### 【ポッチャ体験】

～ポッチャというスポーツ、ルールを知る～

学年を4つのグループに分け、1年間同じ仲間とチームを組んでポッチャに取り組む。(その他の総合的な探究の時間の活動も同じメンバーで行う)

ポッチャというスポーツの面白さを感じた生徒たち。「またやりたい」「次はこうしたい」と今後の活動に意欲を見せる生徒も多かったです。



(ポッチャ体験の様子)

### 【大ポッチャ大会】

～仲間と戦略を相談し、ゲーム展開を考えながら楽しむ～

学年で2回のポッチャ大会を開催。優勝を目指し、仲間と戦略を練ったり、投球順を考えたり、アドバイスし合ったりしながらゲームを楽しんだ。最後の投球が終わるまで試合の勝敗がわからないことで、大いに盛り上がった。



(チームリーダーによる選手宣誓)



(ゲームの様子)



(優勝チームにはトロフィーを授与)

### 【ミニボッチャ大会】

～ボッチャに慣れ親しむ～

クラス内でボッチャを楽しんだり、他のクラスと一緒にボッチャトーナメントを開催したりして、ボッチャを何度も経験し、楽しんだ。生徒にとってボッチャがより身近なスポーツとなっていた。



(クラスでボッチャ・赤と青のマジックで生徒が審判)

### 【調べ学習】

～パラリンピック、種目について知る～

クラスでテーマを決めて、パラリンピックや競技の歴史、東京2020パラリンピックについて調べ学習を行った。その後学習発表会を行い、学年全体で共有した。

- ボッチャ ・ ゴールボール ・ シットイングバレーボール
- 車いすバスケットボール ・ パラリンピックの歴史
- 東京2020パラリンピック



(掲示作りの様子)



(生徒が作成した掲示物)



(パラリンピック調べ学習発表会の様子)



(ゴールボール競技紹介)

6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ボッチャを体験したことにより、パラリンピックへの興味が高まり、競技種目について知るきっかけになった。シッティングバレーボールやゴールボールを体験するクラスもあった。</li> <li>• 中学部から進学した生徒、中学校から進学した生徒がボッチャを通して共に協力しながらスポーツに取り組み、学年の仲間とのかかわりが多くもてた。</li> <li>• ボッチャのルールを知り、面白さを感じた生徒たちは、クラスや気の合う仲間とボッチャをして楽しむ姿が見られるようになった。</li> <li>• ボッチャのセットを購入していただいたことで、対象学年以外の学年でもボッチャの体験をしやすくなった。</li> </ul>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高等部の体育授業は2グループに分かれており、内部進学をした生徒と外部進学をした生徒が同じ競技に取り組むことが少ない。今回は普段の体育の授業では共に学ぶことのない生徒を同じグループにし、共に学ぶ、楽しむ場となるよう工夫した。</li> <li>• パラリンピックメダリストの加藤さんに直接ご指導いただいたことで、ボッチャだけでなく、その他パラリンピック競技に対する興味関心が高まり、その後の活動に生徒たちが主体的に取り組む姿につながった。</li> </ul>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校規模によってはできるだけ多くのボッチャセットが必要になる。そうなった場合、ボッチャセットを優先して予算内でラインテープ購入は難しい。</li> </ul>
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学年、部の体育の中で継続して実施予定。</li> </ul>